

平成20年度 健康安全教育部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

<p>《研究主題》 心身ともに健康で、安全に生き抜く実践力を身に付けた児童の育成</p> <p>《研究活動の内容》 (1) 授業を通して、健康安全に関する認識を高めるための研究を進める。 (2) 各校の取組の実践交流を行い、今後の指導に役立てる。</p>

第 一 回	日時	平成20年7月2日(水) 13:45~16:30
	会場	京丹波町立明俊小学校
	研究の概要	<p>(1) 授業公開(13:45~14:30) 第3学年 体育(保健)「体や身の回りの清潔」</p> <p>(2) 研究協議(14:45~16:25) ア 事後研究会 イ ブロック別実践交流会 ・安全についての取組や危機管理体制について ウ 全体会 ・ブロックでの協議報告</p> <p>(3) その他(16:25~16:30) ・府小研部長会の報告</p>
第 二 回	日時	平成20年10月8日(水) 13:40~16:30
	会場	南丹市立吉富小学校
	研究の概要	<p>(1) 授業公開(13:40~14:25) 第5学年 学級活動「歯の健康について考えよう」</p> <p>(2) 研究協議(14:40~15:40) ア 事後研究会 イ 実践発表(15:45~16:20) ・「児童の健康・安全に対する興味・関心・意欲を高めるための工夫」 発表者 南丹市立大野小学校</p> <p>(3) その他(16:20~16:30) ・研究のまとめ ・会計報告</p>

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>1 授業公開 ○継続的・計画的な TT 指導は、効果的で指導の積み上げが見られた。 ○研究授業は、実際に指導に当たることで指導者の勉強になった。 ○授業展開、指導方法、教材・教具の活用等、他校の参考になった。 △知識として理解させるだけでなく、自分の生活を振り返らせて実践化を図る工夫が必要である。 △学習内容を理解させるために、指導過程に「書く活動」を位置づける必要がある。 △「体や身の回りの清潔」「歯の健康について考えよう」の学習では、くり返しの指導が大切である。</p> <p>2 実践発表・交流会 ○児童の思いに沿ったきめ細かい指導と取組が児童の意欲の高揚につながった。 ○各校の取組が、大変参考になった。 △それぞれの学校の実態に合った取組の工夫が必要である。</p> <p>3 安全指導 ・登下校の安全確保については、地域・家庭との連携が大切である。</p>
<p>来年度への研究課題</p>	<p>1 授業公開について ・「体」「心」「食」など多角的な側面からの健康指導についての研修を深める。 ・性教育についての研修を深める。 ・授業者の決定については、各校で授業者依頼ができるような工夫を要する。</p> <p>2 研究会の持ち方について ・町ブロック毎に教材研究・教材作りをする時間を保障する。 ・他支部との交流を図る。(※各支部での研究会の日程上難しい。)</p>
<p>その他の研究活動</p>	<p>【京都府小学校教育研究会、支部長会への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月19日(月) 各支部研究部長合同会議 南丹市園部公民館 ・ 7月11日(金) 第2回 支部長会 口丹波勤労者福祉会館 ・ 11月18日(火) 第3回 支部長会 京丹後市立五箇小学校 ・ " 健康安全教育公開授業(中間発表会) " ・ 2月 3日(火) 第4回 支部長会 口丹波勤労者福祉会館